

オープンアトリエ & ワークショップ

入場・参加無料

田水山小学校(つくば市水守620)

2023年 3月11日(土) / 3月12日(日)
10:00-16:00 13:00-15:00

オープンアトリエ

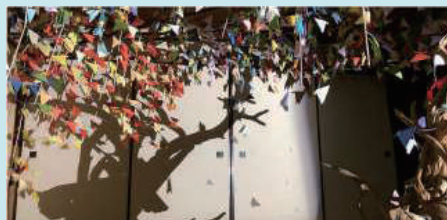
つくばアートラボは、公募で選ばれたアーティスト3人が、廃校を舞台に作品制作・発表・ワークショップを行います。オープンアトリエでは、アーティストの制作の様子や作品を間近にみるすることができます。

3月11日(土) オープンアトリエ 10:00-16:00 & ワークショップ

workshop 1

おりがみ インスタレーション体験

～みんなで蝶を折って
作品「ゆめ」を完成させよう!～



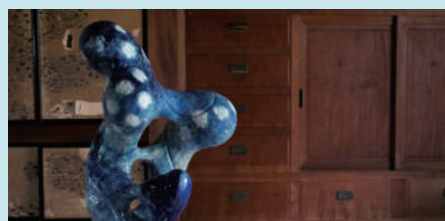
アーティスト 相澤 万亀子

- 時間 10:30-11:00 (10:15-受付)
- 対象 小学校低学年まで
- 定員 20組40名
- 持物 「広報つくば」1枚、ミニライト(スマホ可)

workshop 2

枝と毛糸で生まれる 田水山の「こだま」

～田水山小学校の自然を
つかって、空間を彩ろう～



アーティスト 大井 真希

- 時間 14:00-15:30 (13:45-受付)
- 対象 小学校中学年以上
- 定員 15名
- 持物 好きな毛糸1玉、はさみ、軍手

workshop 3

廃校の洗浄と観察

～洗浄によって変化する
学校風景を観察しよう～



アーティスト 河津 晃平

- 時間 13:30-15:30 (13:15-受付)
- 対象 小学校高学年以上
- 定員 20名
- 持物 カメラ(スマホ可)

ワークショップ申込

※詳細はホームページ(つくばアートチャンネル)をご覧ください

【期間】 2月13日 ~ 3月6日13:00まで ※応募者多数の場合は抽選、結果はメールにてお知らせ

【方法】 右記QRコードを読み込み、申込みフォームよりお申込みください



3月12日(日) オープンアトリエ 13:00-15:00 & アトリエトーク

アトリエトーク 13:30~14:30 出入り自由

アーティスト3名の作品や創作活動、田水山小学校で作品を作る意義などについて、トークします

参加アーティスト・田水山小学校での制作紹介



相澤 万亀子 あいざわ まきこ インスタレーション

伝統文化とメディアアートの融合をテーマに、誰もが楽しめる空間を目指しています。生け花、折り紙と映像による影絵、邦楽や風船など、夢のある場を演出しました。

【略歴】

宮城県石巻市出身。共立女子大学生生活美術学部生活デザイン学科卒業後、財団法人草月会に入社。草月流第三代家元 勅使河原 宏氏のもと、アートディレクターとして研鑽を積む。独立後、東京オリンピック招致、大阪・関西万博招致において日本の伝統文化をいかした空間演出を担当。いけばな作家として草月流第四家元 勅使河原 茜氏へ師事。



大井 真希 おおい まき 陶造形

旧田水山小学校は校舎を取り囲むように生い茂る樹木からたくさんの「こだま」を感じることができます。自然素材を使って、その「こだま」を表現するような制作を目指しています。

【略歴】

1995 富山県八尾町生まれ
2017 多摩美術大学美術学部工芸学科陶専攻卒業
2019 筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻クラフト領域修了
多摩美術大学卒業制作展/優秀賞、第4回いりやKOUBO/大賞(いりや画廊 収蔵)



河津 晃平 かわづ こうへい 写真

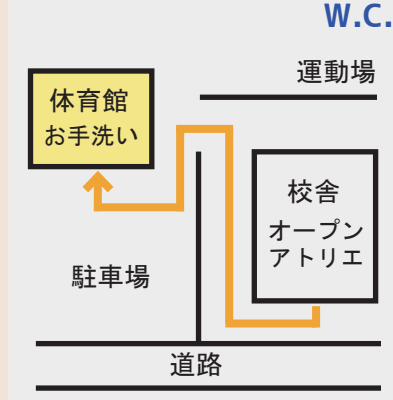
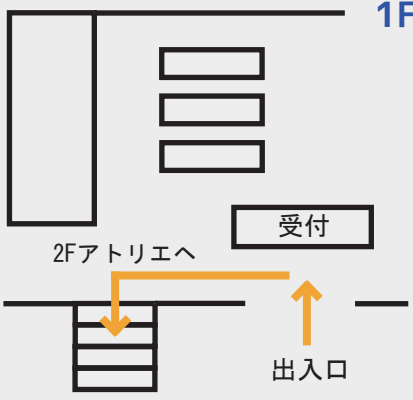
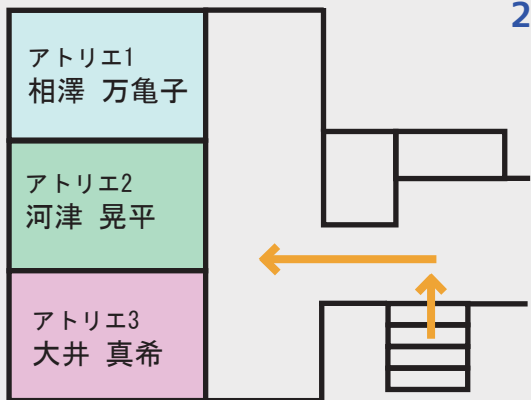
廃校には、子ども達の記憶や時間が堆積しています。それを清掃活動を通して洗い流し、大判フィルムカメラで撮影することで、その空間への眼差しの変化を表現しています。

【略歴】

2021年 筑波大学生物資源学類卒業
2021年 東京藝術大学大学院先端芸術表現専攻入学、在学中
無名の空間に対する記録や記憶の消失と復元についてのプロセスに興味を持っている。現在は主に無人化した公共空間や住居などをモチーフに、写真や映像の制作を通して研究している。

M A P S

※お手洗いは体育館のみ利用可



◆つくばアートラボ◆

つくば市アーティスト支援・文化芸術創造拠点事業の一つ。将来、文化芸術創造拠点として生まれ変わる予定の旧田水山小学校を舞台に、アーティストが作品制作を行い、オープンアトリエ、ワークショップなどを行う。アーティスト、地域住民、行政など、多方面の繋がりを生み出し、旧田水山小学校がつくば市の文化芸術の発信地となる基盤を創ることを目的とした事業。